

令和元年 8月8日

担 当	石川県土木部都市計画課 木村
内 線	5210
外 線	225-1758

「中核都市における新・交通システム研究会」 令和元年度総会及び第50回研究会の開催等について

本研究会は、新しい交通システムの導入に向けた研究活動や現行制度の改善策を検討し、中核都市における新しい交通システムの導入促進を図ることを目的に活動しており、下記のとおり、総会、研究会、制度提案活動を行う。

1. 総会及び研究会

日 時 令和元年8月9日（金） 13:00～14:50

場 所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2
全国都市会館 B1「第3会議室」 TEL 03-3262-5231

1) 総会 13:00～13:30

1 開 会

2 会長あいさつ 金沢市長 山野 之義

3 来賓あいさつ 国土交通省 都市局 街路交通施設課長 本田 武志

4 議案審議

平成30年度事業及び決算報告

令和元年度役員改選 (案)

令和元年度事業計画及び予算 (案)

5 閉 会

2) 研究会 13:40～14:50

講 演

演 題 「MaaS・スマートモビリティとまちづくり」

講 師 日本大学 特任教授・筑波大学 名誉教授

石田 東生

2. 制度提案活動 15:15～16:00

国土交通省の関係部局に対し、現行制度の改善を求める提案書の提出を行う。

会 員 名 簿

(令和元年7月現在)

地方公共団体名	代 表 名	連 絡 先
栃木県	県土整備部長 熊倉 一臣	〒320-8501 宇都宮市場田1-1-20 県土整備部交通政策課 TEL(028)623-2522 FAX(028)623-2399
宇都宮市	市 長 佐藤 栄一	〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5 建設部LRT企画課 TEL(028)632-5259 FAX(028)639-0614
新潟市	市 長 中原 八一	〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1 都市政策部都市交通政策課 TEL(025)226-2723 FAX(025)229-5150
富山市	市 長 森 雅志	〒930-8510 富山市新桜町7-38 活力都市創造部交通政策課 TEL(076)443-2192 FAX(076)443-2190
石川県	土木部長 竹俣 隆一	〒920-8580 金沢市鞍月1-1 土木部都市計画課 TEL(076)225-1758 FAX(076)225-1760
金沢市	市 長 山野 之義	〒920-8577 金沢市広坂1-1-1 都市政策局交通政策部交通政策課 TEL(076)220-2038 FAX(076)220-2048
静岡市	市 長 田辺 信宏	〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 都市局都市計画部交通政策課 TEL(054)221-1471 FAX(054)221-1060
姫路市	市 長 清元 秀泰	〒670-8501 姫路市安田4-1 都市局交通計画室 TEL(079)221-2860 FAX(079)289-0588
岡山市	市 長 大森 雅夫	〒700-8544 岡山市北区大供1-1-1 都市整備局都市・交通部交通政策課 TEL(086)803-1374 FAX(086)234-0435
高松市	市 長 大西 秀人	〒760-8571 高松市番町1-8-15 都市整備局交通政策課 TEL(087)839-2138 FAX(087)839-2491

会員：10団体（2県8市）

連絡先：石川県土木部都市計画課 TEL (076) 225-1758 / 金沢市都市政策局交通政策部交通政策課 TEL (076) 220-2038

中核都市における 新・交通システム研究会 2019



表紙：Fukuoka BRT（福岡市）

令和元年7月作成

ごあいさつ



中核都市における
新・交通システム研究会 会長
(金沢市長)

山野 之義

近年、日本社会は出生数が過去最低となり、高齢化率は過去最高を更新するなど、世界でも極めて速いスピードでの少子高齢化・人口減少社会を迎えています。少子高齢化・人口減少社会において、生活に必要なサービス機能を維持・向上するためには、都市全体の構造を見渡しなが、居住・医療・福祉・商業等の生活機能をコンパクトに集約して拠点化するとともに、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成する必要があります。また、人生100年時代を前に、自動車の運転に不安を感じ始めた高齢者等の方が、自動車に頼らなくても、安心して日常生活を営むことが可能となる地域公共交通ネットワークが求められています。

地域公共交通ネットワークの再構築を実現していくにあたっては、本年5月に改正された道路運送車両法等により法整備が進む自動運転やMaaSの技術進歩を見据えた上で、地域公共交通ネットワークの根幹となりうる当該地域の実情に相応しい新しい交通システムを導入して、地域全体としての交通の円滑化・効率化を図ることが不可欠です。

本研究会の発足以来、新しい交通システム等に関する国の補助制度が拡充され、全国の都市で導入計画や実際に導入される動きが見られるのは、たゆみなく研究・提言を続けてきた本研究会の成果であると言えるのではないのでしょうか。

今後も、本研究会の活動を通して、本研究会会員都市をはじめとするそれぞれの自治体と連携し、新しい交通システムの導入がさらに促進される環境づくりに努めてまいりたいと考えております。そのためにも、国土交通省をはじめ関係各位のより一層のご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

■第50回研究会

演題 MaaS・スマートモビリティとまちづくり
講師 日本大学特任教授・筑波大学名誉教授 石田 東生



日本大学特任教授
筑波大学名誉教授

石田 東生

活気ある魅力的なまちや住みやすい地域にとってのモビリティサービスの重要性が再認識されている。また、IoTやAIの急速な発展により新たなモビリティサービスの効果的・効率的提供が、MaaSという形で可能となりつつあり、実際に成果を収めている例も報告されている。

講演では、国内外のモビリティサービスと都市のあり方をめぐる最先端の取り組みの紹介を踏まえて、国土交通省のスマートシティ構想、経済産業省と国土交通省が連携して進めるスマートモビリティチャレンジ推進協議会など、政策面の新しい動きも紹介する。

その上で、現在抱える制度・規制やビジネス慣習などの制度課題、収容空間である道路・街路などのインフラ空間に関する課題、データ連携やアプリシステムなどの技術的課題に触れながら、まちづくり、インフラ整備、データ連携、観光・買い物・飲食・医療などとの多様な連携の必要性と政策展開の方向性について考えてみたい。

研究会の目的及び活動内容

中核都市においては、少子・高齢化、中心市街地の空洞化等の問題も相俟って、既成市街地の再生・再構築など、地域の特性を生かしたコンパクトなまちづくりが喫緊の課題となっています。

今後、中核都市が発展していくためには、都市交通問題の解決や都市機能の強化が必要であり、将来の総合都市交通体系の形成とまちづくりの形成を図るためには、新しい交通システムの導入が不可欠です。そこで、新しい交通システムの導入に対し共通の認識をもつ県及び中核都市を中心として、平成7年8月3日に「中核都市における新・交通システム研究会」が設立しました。

本研究会では、現実化に向けた研究活動や現行制度の改善策を検討し、中核都市における新しい交通システムの導入促進を図るため、次の活動を行います。

- (1) 新しい交通システムについての調査、研究及び企画の立案
- (2) 中核都市における新しい交通システムについての情報交換
- (3) 中核都市における新しい交通システム導入促進のための陳情、要望活動
- (4) その他研究会の目的を達成するための必要な活動

■設立

平成7年
8月3日

■研究会役員

会長 金沢市長
監事 岡山市
事務局 石川県

■加入団体

2県8市

平成30年度活動内容

H30.7.20 総会及び第48回研究会<東京都・全国都市会館>

- ・平成30年度総会
- ・第48回研究会

①基調講演 『地方都市の公共交通とまちづくり』
横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院
教授 中村 文彦

②事例報告 『宇都宮市のLRT導入に向けた取組状況について』
宇都宮市建設部LRT企画課 課長 松本 朝行

- ・国への提案書の提出

H30.11.8~9 第49回研究会<福岡市・八百治博多ホテル>

①事例報告 『「都心循環BRT」の形成に向けた取り組みについて』
福岡市住宅都市局都心創生部都心交通課
課長 松岡 淳

②講 話 『これからのまちづくりと交通』
国土交通省都市局街路交通施設課
課長補佐 田賀 雅宏

③基調講演 『少子高齢社会を支える公共交通』
福岡大学工学部社会デザイン工学科
教授 辰巳 浩

④現地調査 博多駅・西鉄天神高速バスターミナル等視察

令和元年度スケジュール

8月 総会及び第50回研究会

11月 第51回研究会